

資源・素材・エネルギーの

総合化を目指した鉱業博物館

秋田大学鉱山学部教授 丸山孝彦

秋田大学鉱山学部附属鉱業博物館は、約1年間休館して展示内容一新（リニューアル）と建物改修（リフォーム）を内容とするリフレッシュ事業を行い、昨年10月上旬新装オープンした。

同博物館は鉱山学部の創立50周年記念事業として1961年秋に建設された。以来、地球科学や鉱業に関する国内唯一つの、さらに質量ともに世界的に誇ることのできる博物館として、一般の人々にも親しまれてきた。しかしながら、展示内容や解説方法は創立以来ほとんど変わりなく、また建物の老朽化が進んでいた。今回のリフレッシュ事業は、同館創立30周年記念事業として計画された。

リニューアルに要する費用は学部の同窓会「北光会」が中心となって現旧教職員、北光会員、企業などに寄附を募り、総額は約7千万円に達した。また、鉱・工業会、地元自治体、篤志家から模型や標本が多数寄贈された。これらの寄附金、模型、標本などをもとに、「見学者に分かりやすい、

資源・エネルギー・素材の総合化」を目指して、2～3階の全面的な模様替えを行った。「地球の秘密を探ろう」。「暮らしの秘密を探ろう」を二大テーマとし、地球の内部構造や歴史、日本列島と秋田県の地質構造発達史、自然災害、エネルギー資源の生成メカニズムと生活との関連、金属・非金属資源と生活との関連、資源消費と環境汚染、鉱業技術史の計7つのコーナーが設置された。各コーナーは標本・模型・パネル・パソコンを通じて視聴覚的に学べる構成となっている。二大テーマの最後には大スクリーンのAVシアター室が設けられ、レーザーディスクやビデオを通じて、より密度の濃い内容を学べるようになっている。これまで1～2階に陳列されていた岩石、鉱物、宝・貴石、化石などは、大学コレクションコーナーとして1階に集約し、系統的に陳列し直された。1～3階の標本展示数は約1万6千点余りの所蔵品のうち2千点余りに達する。とくに鉱物や鉱石は鉱山の採掘現場で卒業生が採集し寄贈されたも

のが多く、いずれも逸品揃いである。

一方、リフォーム事業は1993年度補正予算に盛り込まれ、対象は展示棟ばかりでなく付設の研究棟や資料庫にもおよんだ。工事内容は外壁の全面改装をはじめ、改修前と比較すると2倍以上の明るさになった照明、暖房設備と防火装置の増強、非常階段の新設、天井張替え、エレベーター新設・身障者用のスロープやトイレの新設など、展示内容の一新にふさわしく、見学者が利用しやすいように設備された。

新装オープン以後、訪れた見学者は自然の造形美に感嘆し、同時に地下資源の身近さを痛感している。最近では秋田県内外の大人や秋田県内の小・中学生などの団体利用も増えてきた。現在サイエンスボランティアによる解説者を養成中しており、7月後半からは団体の見学者に対しても案内や説明が可能となる。また、ボランティア参加者に対して、自らが鉱業博物館を生涯学習の場として位置づけ、学習サークルを通じて学習し、市民と博物館を結ぶ架け橋としての役割を期待している。

リフレッシュオープン後の試みとして、1年に2回の企画展を行う予定である。第1回目は6月17日（土）から8月20日（日）まで「アンモナイト展」を開催する。

夕張炭田周辺で採集し寄贈された多数のアンモナイトや、ペルー産アンモナイトの展示や、その当時の環境を復元したパネルの展示のほか、夏季休暇中には化石のクリーニング法と小学生高学年を対象とした化石採集を行う。第2回目は10月上旬から11月上旬まで「リモートセンシング展」を開催する予定である。

（秋田大学博物館館長）

所在地／秋田市手形字大沢28-2

電話／0188-33-5260

開館時間／午前9時～午後4時

休館日／4月下旬から11月上旬までは無休

①12月28日から翌年1月4日まで

②11月中旬から翌年4月中旬までの毎土曜・日曜日、国民の祝日と同振替休日

入館料／個人 大人220円

小人(中学生以下)110円

団体 大人170円

小人(中学生以下)90円

団体扱いは30名以上



写真1 鉱業博物館の全景



写真2 1階展示室。展示標本は部分的に時々入れ替えられる。



写真3 2階展示室。パネルによる説明の下には関連した標本が並ぶ。



写真4 2階展示室。10万分の1秋田県地質鉱産立体模型。秋田県の地下資源の宝庫ぶりを示す模型で見学者に人気が高い。



写真5 3階展示室。電力ネットワーク模型。スイッチを押すと解説が始まり、解説に対応して模型が動く。見学者はエネルギー資源の身近さを電力を通じて痛感している。

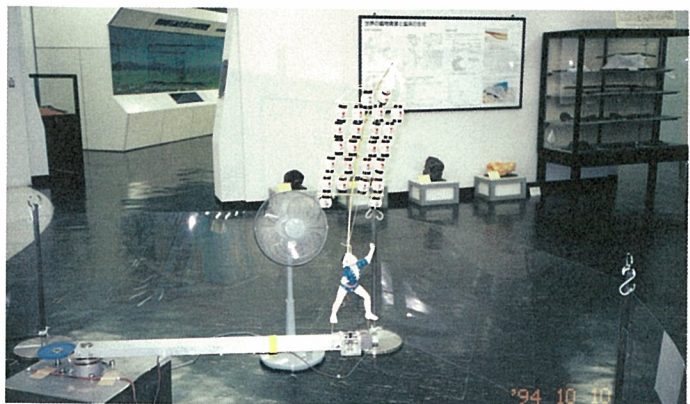


写真6 3階展示室。囃しに合わせ、扇風機の風により妙技を演ずる竿燈ロボット。人形には秋田県特産のゼオライトが、竿燈の明りには秋田県産ダイオードが使用されている。